

発行 車体発 19 第 201 号

2020 年 3 月 12 日

2020年度 トレーラ国内需要見通し

日本自動車車体工業会トレーラ部会では、2020 年度のトレーラ国内需要見通しをまとめましたので発表します。

1. 2019 年度トレーラ需要見込み

2019 年度は台風被害や消費税増税の影響で一時的な景気の減速が見られた。その様な状況でもトレーラはドライバー不足の解消対策等として、昨年比大幅な増加となった。トレーラ生産は、バンが前年比 120%、コンテナ用は同 110%、平床（あおり付き含む）・低床は同 96%という結果になった。その他のトレーラは前年比 100%であった。

2. 2020 年度トレーラ需要見通し

米中貿易摩擦歯止めによる輸出入持ち直し、原油価格安定等のプラス要因に対し、新型コロナウイルスのマイナス影響が予測困難な状況ではあるが、トレーラメーカー各社受注残もあり、総需要 9,400 台、2019 年度並みと見込む。

<トレーラ国内需要見通し>

(単位：台)

年 度		2018年度	2019年度	2020年度	対前年比	
		(A)実績	(B)見通し	(C)予測	2019年度 (B/A)	2020年度 (C/B)
合 計		8,732	9,400	9,400	108%	100%
形 状	コンテナ用	2,557	2,800	2,700	110%	96%
	バン	2,673	3,200	3,200	120%	100%
	平床・低床	2,298	2,200	2,300	96%	105%
	その他特装系	1,204	1,200	1,200	100%	100%

(注) 1. 日本自動車車体工業会というトレーラとは貨物輸送用をいい、キャンピングトレーラ、ボートトレーラなどは除く

2. 上記数字は車工会会員の台数（並行輸入車等は含まず）

(本件の問合せ先) 日本自動車車体工業会事務局：板倉